

# 英 語

| 発行者 |              |      | 教科書の記号・番号               | 判型<br>総ページ数 | 検定済年   |
|-----|--------------|------|-------------------------|-------------|--------|
| 番号  | 名称           | 略称   |                         |             |        |
| 2   | 東京書籍         | 東 書◆ | 英語 002-72・002-82・002-92 | A 4<br>486  | 令和 6 年 |
| 9   | 開隆堂出版        | 開隆堂◆ | 英語 009-72・009-82・009-92 | A 4<br>514  |        |
| 15  | 三省堂          | 三省堂◆ | 英語 015-72・015-82・015-92 | A 4<br>532  |        |
| 17  | 教育出版         | 教 出◆ | 英語 017-72・017-82・017-92 | A B<br>546  |        |
| 38  | 光村図書出版       | 光 村◆ | 英語 038-72・038-82・038-92 | A B<br>582  |        |
| 61  | 新興出版社<br>啓林館 | 啓林館◆ | 英語 061-72・061-82・061-92 | A 4<br>490  |        |

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊数  | 発行者の略称               |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「開拓精神」の伝統のもと、教科横断的な探究型学習を推進して生徒の幅広い知的好奇心に応える。また、日本の伝統文化理解教育と国際理解教育を推進して自己のアイデンティティ確立とダイバーシティ（多様性）尊重の精神を養い、「競争」と「協働」ができる創造的なグローバル人材を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 基礎・基本を確実に定着させるために、補助教材等も利用し、繰り返して練習する活動を十分行う。
- (2) ダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を育成するとともに、国際社会に対応できるように英語のコミュニケーション能力の伸長を図るため、英語による自己表現などの活動を中学校から積極的に行う。
- (3) 学習の成果を発表する場として「校内スピーチコンテスト」を実施したり、インターネットなどを活用し、海外の機関や学校との交流を積極的に行う。これらを通じて国際社会に生きるリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）     | 対象の根拠                                                                                       | 数値データの単位 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| a 日本の文化・伝統を扱っている教材数 | 台東地区中高一貫6年制学校<br>基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b SDGsを扱っている教材数     | 同上                                                                                          | 個        |
| c 自然・科学、環境を扱っている教材数 | 同上                                                                                          | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- c 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a 日本の文化・伝統を扱っている教材数 | b SDG s を扱っている教材数 | c 自然・科学、環境を扱っている教材数 |
|-----------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 東 書       | 11                  | 16                | 5                   |
| 開隆堂       | 6                   | 17                | 12                  |
| 三省堂       | 8                   | 10                | 3                   |
| 教 出       | 8                   | 14                | 7                   |
| 光 村       | 7                   | 10                | 3                   |
| 啓林館       | 9                   | 13                | 8                   |
| 平均値       | 8.2                 | 13.3              | 6.3                 |

- a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。
- b 「SDG s を扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- c 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊 数 | 発 行 者 の 略 称          |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

生徒が広い視野と豊かな教養を身に付けることを目指し、小石川教養主義に基づき全ての教科・科目を偏りなく学ぶとともに、これを土台とした理数教育、国際理解教育、6年間を貫く探究活動、専門家による特別講演などの特色ある教育活動を通じて、自ら志を立て、自分が進む道を切り拓き、新しい文化を創り出すグローバルリーダーを育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 習熟度別授業や少人数授業等を実施するとともに、外国人講師の複数配置を基本とし、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 発達段階に応じて、新聞、雑誌、放送を活用し、政治、経済、文学、歴史等からテーマを決め、プレゼンテーションやディベートを発展的に学習する。
- (3) 英語を使わなければならない状況を設定し、使える英語を体得させる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                               | 数値データの単位 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|----------|
| a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 文京地区中高一貫6年制学校<br>基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 自然・科学、環境を扱っている教材数           | 同上                                                  | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | b 自然・科学、環境を扱っている教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|-------------------------------|---------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 9                             | 5                   | 3                             |
| 開隆堂       | 1                             | 12                  | 4                             |
| 三省堂       | 3                             | 3                   | 5                             |
| 教 出       | 1                             | 7                   | 4                             |
| 光 村       | 3                             | 3                   | 2                             |
| 啓林館       | 8                             | 8                   | 1                             |
| 平均値       | 4.2                           | 6.3                 | 3.2                           |

a 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊 数 | 発 行 者 の 略 称          |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「自律自修」の精神に基づき、真理と正義を愛し、広く深い教養を身に付け、心身ともに健康で明朗な生徒を育成する。中高一貫教育校として、6年間の指導計画や探究活動を通じて、高い学力を身に付けさせるとともに、豊かな言語能力と望ましい職業観、高い志と世界的視野をもった人間性豊かな生徒を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 英語の書籍、ニュース、インターネットを活用した海外生徒との交流など多様な教材を使用し、英語を話す面白さや楽しさを実感させる。
- (2) 英字新聞・雑誌・英語放送など多様な教材を活用し、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート等の要素を取り入れ、リスニング・スピーキング能力の伸長を図る。これらを通じて国際社会に生きるリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。
- (3) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力などの育成のために、生徒が能動的に学ぶ「アクティブラーニング」の推進に努める。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                               | 数値データの単位 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|----------|
| a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 墨田地区中高一貫6年制学校<br>基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 自然・科学、環境を扱っている教材数           | 同上                                                  | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |

※調査研究項目を設定した理由

- 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | b 自然・科学、環境を扱っている教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|-------------------------------|---------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 9                             | 5                   | 3                             |
| 開隆堂       | 1                             | 12                  | 4                             |
| 三省堂       | 3                             | 3                   | 5                             |
| 教 出       | 1                             | 7                   | 4                             |
| 光 村       | 3                             | 3                   | 2                             |
| 啓林館       | 8                             | 8                   | 1                             |
| 平均値       | 4.2                           | 6.3                 | 3.2                           |

a 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊 数 | 発 行 者 の 略 称          |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 音声と語法の両面において英語の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、習熟度別学習や選択教科を効果的に活用する。
- (2) 「プレゼンテーション」授業を取り入れ、学習の成果や自分の考え、意見を発表する機会を設定する。
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションを行おうとする態度の育成を図る。そのために、できるだけ英語を用いて授業を進める。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                                                                                         | 数値データの単位 |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| a 日本の文化・伝統を扱っている教材数           | 中等教育学校基本計画検討委員会報告書<br>中高一貫教育校の整備に関する検討委員会の報告書<br>目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について<br>目黒地区中等教育学校 教育課程 第1章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b SDGsを扱っている教材数               | 同上                                                                                                            | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                                                                                            | 個        |

※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手として、広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことについて扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。



| 項目<br>発行者 | a 日本の文化・伝統を扱っている教材数 | b SDG s を扱っている教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|---------------------|-------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 11                  | 16                | 3                             |
| 開隆堂       | 6                   | 17                | 4                             |
| 三省堂       | 8                   | 10                | 5                             |
| 教 出       | 8                   | 14                | 4                             |
| 光 村       | 7                   | 10                | 2                             |
| 啓林館       | 9                   | 13                | 1                             |
| 平均値       | 8.2                 | 13.3              | 3.2                           |

- a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。
- b 「SDG s を扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊数  | 発行者の略称               |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」という教育目標を実現するために、Road to Global Citizen—Think Globally, Act Locally—を掲げ、特色あるプログラムを通じて日常から養える国際感覚と多様性をもつ生徒を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 6年間を通じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく展開して、外国語の背景にある文化・社会・人間を含めた知識、多様な文化・社会をよく生きる人間としての姿勢、語学を活用する際に必要な技能を育む。
- (2) 少人数クラス、外国人講師による授業を設け、生徒自身が積極的に授業に関わる環境を整え、習熟の程度に応じたきめ細かい指導を展開する。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                               | 数値データの単位 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|----------|
| a SDGsを扱っている教材数               | 立川地区中高一貫6年制学校（国際中等教育学校）基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a SDG s を扱っている教材数 | b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 16                | 9                             | 3                             |
| 開隆堂       | 17                | 1                             | 4                             |
| 三省堂       | 10                | 3                             | 5                             |
| 教 出       | 14                | 1                             | 4                             |
| 光 村       | 10                | 3                             | 2                             |
| 啓林館       | 13                | 8                             | 1                             |
| 平均値       | 13.3              | 4.2                           | 3.2                           |

- a 「SDG s を扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。
- c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊 数 | 発 行 者 の 略 称          |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「向上進取の精神」のもと、地球規模の課題を「自分ごと化」していく武蔵独自の探究活動である「地球学」を軸とし、中高6年間の一貫性を持った体系的なキャリア教育を通して、豊かな知性と感性を育て、健康な心と体を養い、一人一人の高い進路目標を確立し、実現することで、「国際社会に貢献する知性豊かなリーダー」を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 外国人英語等教育補助員（A L T）を複数配置することや、コンピュータ利用の学習システム（C A I）などの活用を図り、英語への興味付けをしつつ、学習の基礎・基本を定着させる。
- (2) 英語の書籍、ニュース、インターネットを活用し、海外での語学研修など多様な学習の機会を設定し、基礎的・定型的な日常会話の習得を目指すとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。
- (3) 暗唱した英語などを発表するレシテーションコンテストやスピーチコンテストなどを開催することにより、音声面の大切さを認識させ、同時にプレゼンテーション能力の伸長を図る。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                            | 数値データの単位 |
|-------------------------------|--------------------------------------------------|----------|
| a S D G s を扱っている教材数           | 武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 同上                                               | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                               | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a SDG s を扱っている教材数 | b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 16                | 9                             | 3                             |
| 開隆堂       | 17                | 1                             | 4                             |
| 三省堂       | 10                | 3                             | 5                             |
| 教 出       | 14                | 1                             | 4                             |
| 光 村       | 10                | 3                             | 2                             |
| 啓林館       | 13                | 8                             | 1                             |
| 平均値       | 13.3              | 4.2                           | 3.2                           |

a 「SDG s を扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。

b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊数  | 発行者の略称               |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「教養、調和、挑戦」を目標とし、自主自律、文武両道の精神の下、6年間一貫通貫した探究活動を中心とした教育活動を通じて理数的課題発見力・解決力を育成するとともに、新しい価値観と既存の価値観を調和させ、社会の課題を解決するために自己の限界に挑戦できる人間を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 将来国際社会で幅広く活躍する知性と品性を兼ね備えた人物の育成を目指し、教育活動を展開する。
- (2) 基礎的な文法や語彙を確実に定着させることを目標とする。
- (3) 実践的なコミュニケーション活動を行うために日常的にスピーチなど発表の機会を積極的に設け、話したり聞いたりすることを身近なものにさせる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                               | 数値データの単位 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|----------|
| a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 中野地区中高一貫6年制学校<br>基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 自然・科学、環境を扱っている教材数           | 同上                                                  | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | b 自然・科学、環境を扱っている教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|-------------------------------|---------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 9                             | 5                   | 3                             |
| 開隆堂       | 1                             | 12                  | 4                             |
| 三省堂       | 3                             | 3                   | 5                             |
| 教 出       | 1                             | 7                   | 4                             |
| 光 村       | 3                             | 3                   | 2                             |
| 啓林館       | 8                             | 8                   | 1                             |
| 平均値       | 4.2                           | 6.3                 | 3.2                           |

a 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊 数 | 発 行 者 の 略 称          |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 外国語である英語を学ぶことを通して、異文化に対する理解を深める。
- (2) 我が国の歴史・文化・社会を理解し尊重する態度を育てる。
- (3) 英語という国際的言語を使って情報を直接入手したり、情報を発信できる能力と国際的な視野を備えたコミュニケーション能力を養う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                               | 数値データの単位 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|----------|
| a 日本の文化・伝統を扱っている教材数           | 練馬地区中高一貫6年制学校<br>基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。



| <div>項目</div> <div>発行者</div> | a 日本の文化・伝統を扱っている教材数 | b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|------------------------------|---------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 東 書                          | 11                  | 9                             | 3                             |
| 開隆堂                          | 6                   | 1                             | 4                             |
| 三省堂                          | 8                   | 3                             | 5                             |
| 教 出                          | 8                   | 1                             | 4                             |
| 光 村                          | 7                   | 3                             | 2                             |
| 啓林館                          | 9                   | 8                             | 1                             |
| 平均値                          | 8.2                 | 4.2                           | 3.2                           |

- a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。
- b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。
- c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊数  | 発行者の略称               |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

心・知・体のバランスのとれた生徒を育てるため教養教育を推進し、学力・突破力・協働能力・探究力の育成を図り人間力を育む。フィールドワーク等特色ある教育活動により、6年間を通して“確かな学力”を身に付けさせる。新たな価値を創造し、主体性をもって国際社会の様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 習熟度に応じた少人数授業を実施し、きめ細かい指導を行うとともに基礎・基本の定着を図る。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を、6年間を見通して体系的に学習し、バランスのとれた英語力を育成する。
- (2) 外国語英語等補助員（ALT）を活用して、音声指導を重視したリスニング能力、コミュニケーション能力を養う。
- (3) ライティング等を通して、コミュニケーション能力に必要な文法力も共に定着させる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                        | 数値データの単位 |
|-------------------------------|----------------------------------------------|----------|
| a SDGsを扱っている教材数               | 八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 同上                                           | 個        |
| c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 | 同上                                           | 個        |

※調査研究項目を設定した理由

- 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a SDG s を扱っている教材数 | b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数 |
|-----------|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 16                | 9                             | 3                             |
| 開隆堂       | 17                | 1                             | 4                             |
| 三省堂       | 10                | 3                             | 5                             |
| 教 出       | 14                | 1                             | 4                             |
| 光 村       | 10                | 3                             | 2                             |
| 啓林館       | 13                | 8                             | 1                             |
| 平均値       | 13.3              | 4.2                           | 3.2                           |

a 「SDG s を扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。

b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

| 冊数  | 発行者の略称               |
|-----|----------------------|
| 18冊 | 東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館 |

## 2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

思いやりの心を持った社会的なリーダーの育成を目標に、互いの基本的人権を尊重し、豊かな人間性と高い見識、幅広い視野を培い、自立と共生の精神を養う。6年間の体系的な教育課程、発達段階に応じた体験的な学習、異年齢集団による特別活動や地域連携、国際理解教育といった教育活動を通じて、世界にはばたく社会的リーダーを育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 6年間を通じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を生徒の精神の発達段階に応じてバランスよく配置する。英語の実践的コミュニケーション能力の育成のみならず、外国語の背景にある言語や文化・社会を理解し、自己形成の一助としての外国語の学習を目指す。
- (2) 暗唱した英語などを発表するレシテーションコンテスト等を適時開催し、バランスのとれた英語能力の伸長の一助とする。
- (3) 英語への興味付け、基礎の語彙・定型表現の定着を図る。また、生涯学習の観点からも、予習・復習のほかにリスニング、リーディング等の家庭学習の充実を促す。また、外国人英語等教育補助員（ALT）を配置したり、コンピュータ利用の学習システム（CAI）の活用を通して、実践的な英語に触れる機会を多く提供する。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

| 調査研究項目（調査研究の対象）               | 対象の根拠                                               | 数値データの単位 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|----------|
| a 日本の文化・伝統を扱っている教材数           | 三鷹地区中高一貫6年制学校<br>基本計画検討委員会報告書<br>第3章<br>令和5年度学校経営計画 | 個        |
| b SDGsを扱っている教材数               | 同上                                                  | 個        |
| c 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 | 同上                                                  | 個        |

### ※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- c 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。

| 項目<br>発行者 | a 日本の文化・伝統を扱っている教材数 | b SDG s を扱っている教材数 | c 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数 |
|-----------|---------------------|-------------------|-------------------------------|
| 東 書       | 11                  | 16                | 9                             |
| 開隆堂       | 6                   | 17                | 1                             |
| 三省堂       | 8                   | 10                | 3                             |
| 教 出       | 8                   | 14                | 1                             |
| 光 村       | 7                   | 10                | 3                             |
| 啓林館       | 9                   | 13                | 8                             |
| 平均値       | 8.2                 | 13.3              | 4.2                           |

- a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。
- b 「SDG s を扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- c 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

ア デジタル教科書の扱い

| 発行者 | 取り上げられた単元名（学年）                   | a 拡大機能 | b 音声機能<br>※ 1 | c 動画機能<br>※ 2 | d 書き込み機能 | e 保存機能 | 備考                                                  |
|-----|----------------------------------|--------|---------------|---------------|----------|--------|-----------------------------------------------------|
| 東 書 | Unit 2<br>What is local food?    | 有      | 有             | 有             | 有        | 有      | ・ 単語・文の個別再生機能有 ※ 3<br>・ 読み上げ機能有 ※ 4<br>・ デジタル用例辞典収録 |
| 開隆堂 | PROGRAM 3<br>Taste of Culture    | 有      | 有             | 有             | 有        | 有      | ・ 単語・文の個別再生機能有<br>・ 読み上げ機能有                         |
| 三省堂 | Lesson 5<br>Visiting Australia   | 有      | 有             | 有             | 有        | 有      | ・ 単語・文の個別再生機能有<br>・ 読み上げ機能有<br>・ 辞書機能有              |
| 教 出 | Lesson 3<br>Design Makes Change  | 有      | 有             | 有             | 有        | 有      | ・ 単語・文の個別再生機能有<br>・ 読み上げ機能有<br>・ 録音・再生機能有 ※ 5       |
| 光 村 | Unit 7<br>Working Together       | 有      | 有             | 有             | 有        | 有      | ・ 単語・文の個別再生機能有<br>・ 読み上げ機能有<br>・ 録音・再生機能有           |
| 啓林館 | Unit 2<br>Festivals in the World | 有      | 有             | 有             | 有        | 有      | ・ 単語・文の個別再生機能有<br>・ 読み上げ機能有                         |

※ 1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。

※ 2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。

※ 3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択（タッチ）すると、その単語・文のみを再生する機能である。

※ 4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章（日本語、英語を含む。）を、音声で読み上げる機能のことである。

※ 5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。